

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間: 2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日



作成日: 2024年 7月 25日



総合建設工事・一級建築士事務所

角丸建設株式会社





表 紙

1.	目 次	2
2.	環境経営方針	3
3.	事業概要	4
3-1~2	事業規模・事業内容	5
4.	組織図及び実施体制	6
5-1~6	中期環境経営目標(総量・原単位)	7~12
6-1~3	中期環境経営目標の結果評価及び今後の対策	13-1~3
7.	45期主要な環境経営計画	14
8.	45期環境経営計画の達成状況、次年度の取組み	15
9.	部門別取組結果の評価と改善及び次年度の取組み	16
10.	環境教育訓練	17
11.	地域融合活動	18
12.	環境関連法規遵守状況	19
13.	代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果	20



環境経営方針

【環境経営理念】

『人と街といい関係』

- 私たちの望みは、
「人と街といい関係」を構築し、地域社会に貢献することです。
- 「貢献する」とは、
「地域の皆様の信頼」と、ご支持をいただき続けることです。
- 会社は環境に配慮し、
「地域一番の安心と安定」を目指し、その目標を常に向上させます。

【環境経営指針】

1. 当社は環境経営目標を定め、環境法規制事項を遵守しエコロジーを推進します。
 - 1) 二酸化炭素（電力消費量・化石燃料等）排出の削減
 - 2) 事業所廃棄物の削減及びリサイクル活動の推進
 - 3) 総排水量の削減
 - 4) 建設工事は環境経営に配慮した工法の採用と工期短縮に努めます。
 - 5) 建設リサイクル法による適切処理を致します。
 - 6) 建設廃材の削減と分別化を促進し、リデュース・リユース・リサイクルに努めます。
 - 7) 再生可能エネルギー事業の普及に努めます。
 - 8) 省エネ法を遵守し、建築物の環境性能の向上に配慮した設計に努めます。
 - 9) ICT工法の導入を進め、工期の短縮・生産性の向上・近隣環境への配慮に努めます。
 - 10) SDGsの理念を尊重し、建設業者としての使命と責任を全うしていきます。
2. 当社は「エコアクション21」の要求事項の適合及び、
環境マネジメントシステムを全員参加で推進し、
PDCA成長サイクルを通じての継続的改善を誓約します。
3. この環境経営方針を全社員の理解の基、地域の環境
保全に努め、環境への取り組み状況を地域社会
に公表します。

制 定 2011年 7月 1日
改 訂 2019年 4月 1日
改 訂 2021年 4月 1日



角丸建設株式会社

代表取締役社長 小倉 達也



1) 社名及び代表者名

角丸建設株式会社
代表取締役社長 小倉 達也

2) 所在地

本社 〒426-0021 藤枝市城南2丁目7-3
TEL: 054-641-0116 FAX: 054-644-5885
資機材置場 〒426-0221 藤枝市高田384
東京営業所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
TEL: 03-6868-5539
旧(株)和泉本社 〒426-0132 藤枝市本郷645
TEL: 054-639-0707 FAX: 054-639-0977

3) 設立

創業 1976年(昭和51年) 1月 1日
法人化 1979年(昭和54年) 7月 (資本金1,000万円)
2000年(平成12年) 1月 資本金2,000万円に増資
2017年(平成29年) 7月 コニシ(株)の子会社となる
2020年(令和2年) 2月 (株)和泉を子会社化する
2022年(令和4年) 12月 三島営業所を閉鎖する
2023年(令和5年) 4月 (株)和泉を吸収合併し、土木部とする

4) 資本金

2,000万円

5) 役員

代表取締役会長：日下部 悟
代表取締役社長：小倉 達也(令和6年5月27日就任)
取締役相談役：北澤 英宏(令和6年5月27日就任)
取締役：杉山 昭男
：藤善 敏史
：鈴木 薫 (令和6年5月27日就任)
監査役：古川 真美
執行役員：大須賀直樹、青島一馬、紅林学

6) 対象事業所名

本社 〒426-0021 藤枝市城南2丁目7-3
TEL: 054-641-0116 FAX: 054-644-5885
e-mail: konnichiwa@kakumaru.com
http://www.kakumaru.com
資機材置場・東京営業所・旧(株)和泉本社
* 全営業所を対象とした

7) 環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者：総務部: 西川 稔
EA21委員会 委員：営業部: 大須賀直樹、総務部: 鎌田明仁・藪崎いずみ・梅原恵美子
管理部: 青島一馬・神崎裕子、技術部: 杉山昭男
建築部: 鈴木薫、土木部: 紅林学・堀田成人

EA21 事務局：総務部: 梅原恵美子
TEL: 054-641-0116 FAX: 054-644-5885
連絡先アドレス：e-mail: keiri@kakumaru.com

8) 従業員数

64 名 (2024年 7月 25日現在)

3. -1

事業規模



1) 事業規模（事業年度:期首 4月1日～期末 3月31日）

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		40期	41期	42期	43期	44期	45期
売上高	百万円	3,440	3,778	5,490	3,026	2,958	4,745
従業員数	人	46	47	54	53	49	67
床面積	m ²	1,364.95	1,364.95	1,364.95	1,364.95	1,364.95	1,462.15

3. -2

事業内容



1) 事業内容

建築工事及びリノベーション(営繕・修繕)工事、建築設計、土木構造物の施工
構造物の改修・補強、宅地建物取引

2) 建設業(建設業許可)の種類

建築工事業、土木工事業、大工工事業、とび・土工工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
屋根工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業
左官工事業、石工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、
防水工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、解体業

3) 許可・認定

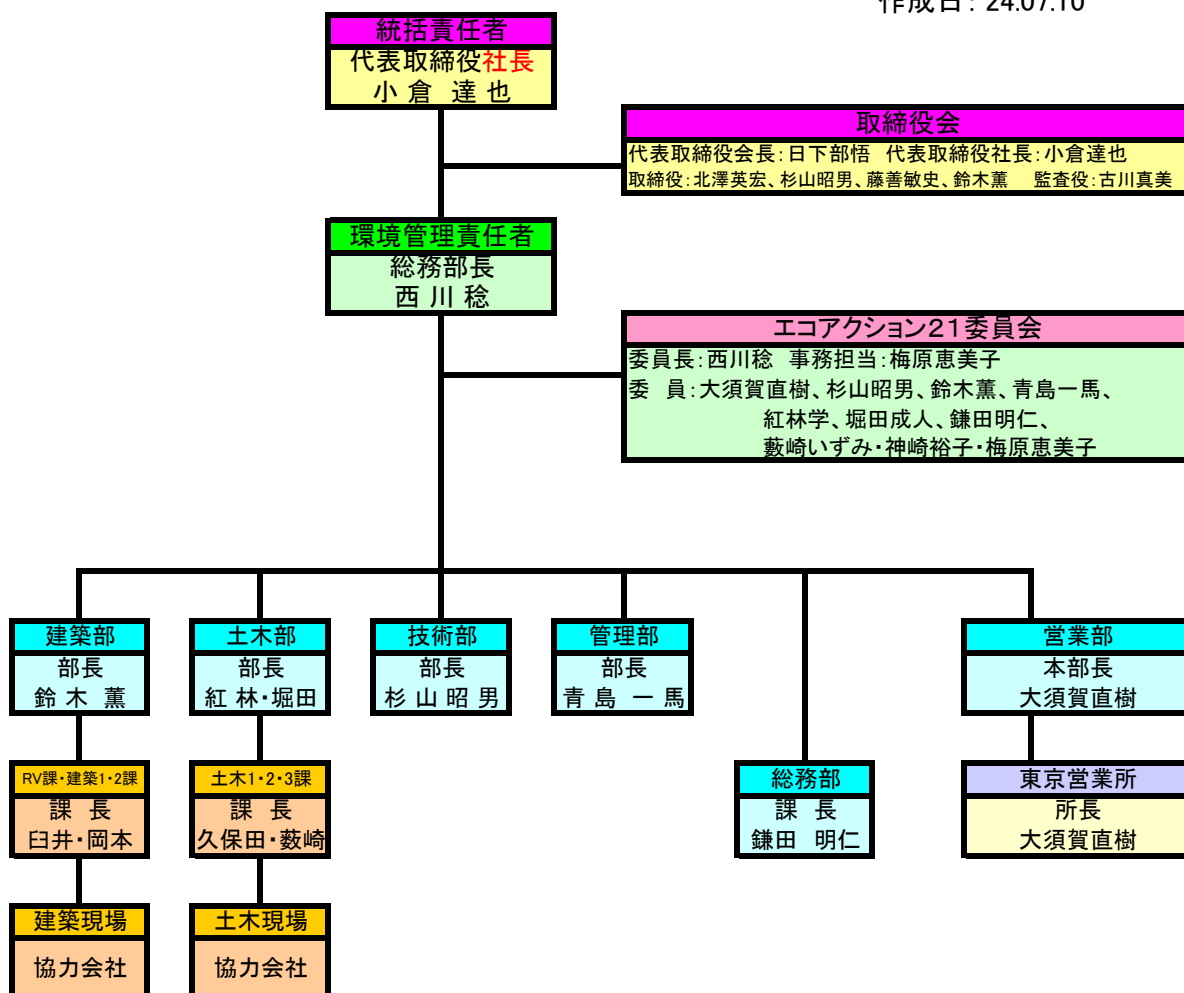
建設業許可：静岡県知事（特-1）第18012号（有効期限：2020年 2月20日～2025年2月19日）
一級建築士事務所：静岡県知事（9）第 2313号（有効期限：2022年 8月15日～2027年8月14日）
宅地建物取引業：静岡県知事（12）第 4615号（有効期限：2023年 4月 1日～2028年3月31日）
派遣業許可：厚生労働大臣 派 22 - 301284（有効期限：2022年10月 1日～2025年9月30日）
産業廃棄物収集運搬許可：静岡県知事 第02201113182号（有効期限：2019年 8月30日～2024年8月29日）
（コンクリートくず、木くず 等・・・実績なし）

4) 有資格者

一級建築士	7 名	二級舗装施工管理技士	2 名
二級建築士	12 名	給水装置工事主任技術者	3 名
一級建築施工管理技士	15 名	二級管工事施工管理技士	2 名
一級土木施工管理技士	15 名	浄化槽設備士	1 名
二級建築施工管理技士	1 名	下水道排水設備工事責任技術	2 名
二級土木施工管理技士	5 名	建設業経理事務士二級	6 名
宅地建物取引主任者	2 名	一級建築施工管理技士補	2 名
		2級造園施工管理技士	1 名



作成日:'24.07.10



職 名	主な責任と権限
代表者	- 統括責任者 - 基本理念、環境経営方針を制定する - 環境管理責任者の任命をする - 経営資源(人材・資金・設備)を用意する
取締役会	代表者を補佐・代行し環境経営システム運営に関する責任と権限を有する。
環境管理責任者	- 環境経営システムの総責任者として、必要な権限を持つ - 環境経営システムの構築・運用状況を把握し、代表者に報告する - 環境経営システムの評価と見直し、継続的な改善に努める - 環境関連事案の対外的なコミュニケーション窓口 - 緊急事態発生時の調整及び連絡
エコアクション21委員会 事務局	- 環境経営システム全体の計画・立案 - 環境経営システム全体の事務管理 - 環境経営活動実施計画の実績集計と記録管理 - 全社員に対し環境経営活動教育の実施 - 環境経営目標達成状況、環境経営活動計画の実施状況及び環境経営システムの運用状況の確認・評価
各部門責任者	- 部門における環境経営活動計画の推進 - 部門における環境教育及び訓練の立案と実施 - 環境負荷の低減に努める - 緊急事態及び問題点発生時の処置と是正・予防処置の実施
全社員	- 環境経営方針を理解し遵守する - 環境経営活動に自主的かつ積極的に参加する



1. 中期環境経営目標(全社・総量)

(事業年度:期首 4月1日～期末 3月31日)

※電力二酸化炭素排出係数(中部電力 0.388kg-CO₂/kwh) * 2021年調整後排出係数を使用した

項 目		単位	2022年度 (44期・売上30億) 基準年(実績)	2023年度 (45期) 目標	2024年度 (46期) 目標	2025年度 (47期) 目標
二酸化炭素	事務所及び工事現場での二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	136,079	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	購入電力	KWH	83,425	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ガソリン	L	37,915	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	軽油	L	1,064	-1.0%	-2.0%	-3.0%
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	536	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	産業廃棄物排出量の削減	t	2450.08	-1.0%	-2.0%	-3.0%
水道使用量の削減		m ³	360	-1.0%	-2.0%	-3.0%
ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)			該当工事の受注	該当工事の受注	受注を目指す	受注を目指す
環境に配慮した現場管理				騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組

※1 化学物質の使用・発生は有りません。

※2 グリーン購入は、環境負荷が少なく改善活動が定着しましたので、環境経営目標や環境経営活動計画は作成せず実績を把握し維持管理を行っています。

※3 一般廃棄物は、可燃ごみの数量のみとします。

※4 産業廃棄物は、コンクリート塊・As・Co塊・木くずの数量とします。

2. 2023年度の目標と実績(全社・総量)

項 目		単位	2022年度 (44期・売上30億) 4月～3月実績	2023年度 (45期) 4月～3月目標	2023年度 (45期・売上47億) 4月～3月実績	評 価
二酸化炭素	事務所及び工事現場での二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	136,079	134,718 (-1.0%)	175,867 29.2%	×
	購入電力	KWH	83,425	82,591 (-1.0%)	121,709 45.9%	×
	ガソリン	L	37,915	37,536 (-1.0%)	38,937 2.7%	×
	軽油	L	1,064	1,053 (-1.0%)	9,809 821.9%	×
廃棄物	一般廃棄物の削減	kg	536	531 (-1.0%)	559 4.3%	×
	産業廃棄物の削減	t	2,450.08	2,425.6 (-1.0%)	4,265.30 74.1%	×
	コンクリート塊	t	1,944.79	1,905.89	2,278.04	×
	As・Co塊	t	446.87	437.933	1,116.38	×
	木くず	t	58.42	57.25	870.88	×
水道使用量の削減		m ³	360	356 (-1.0%)	496 37.8%	×
ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)			ICT施工現場の受注	該当工事の受注	受注は無かったが、自主的に「仮宿下付田高田線(仮宿)道路整備工事」現場にて実施(2024年3月末完工 評点84点)	○
環境に配慮した現場管理				環境バイル工法での施工 騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	手戻し、不適合無く施工完了 騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	○



1. 中期環境経営目標 (全社・原単位)

(事業年度:期首 4月1日～期末 3月31日)

※電力二酸化炭素排出係数(中部電力 0.388kg-CO₂/kwh) * 2021年調整後排出係数を使用した

※環境効率指標:各項目 排出量/売上高(億円)とする。

項 目		単位	2022年度 (44期・売上30億) 基準年(実績)	2023年度 (45期) 目標	2024年度 (46期) 目標	2025年度 (47期) 目標
二酸化炭素	事務所及び工事現場での二酸化炭素の削減	kg-CO ₂ /億円	4,536	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	購入電力	KWH/億円	2,781	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ガソリン	L/億円	1,264	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	軽油	L/億円	36	-1.0%	-2.0%	-3.0%
廃棄物	一般産業廃棄物の削減	kg/億円	17.8	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	産業廃棄物排出量の削減	t/億円	81.700	-1.0%	-2.0%	-3.0%
水道使用量の削減		m ³ /億円	12.0	-1.0%	-2.0%	-3.0%
ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)			該当工事の受注	該当工事の受注	受注を目指す	受注を目指す
環境に配慮した現場管理				騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組

※1 化学物質の使用・発生は有りません。

※2 グリーン購入は、環境負荷が少なく改善活動が定着しましたので、環境目標や環境経営活動は作成せず実績を把握し維持管理を行っています。

※3 一般廃棄物は、可燃ごみの数量のみとします。

※4 産業廃棄物は、コンクリート塊・As・Co塊・木くずの数量とします。

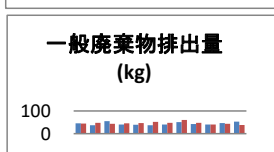
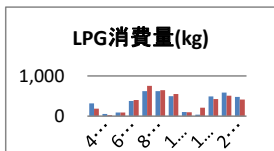
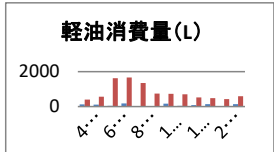
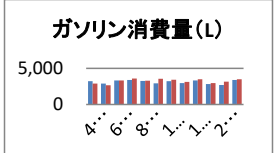
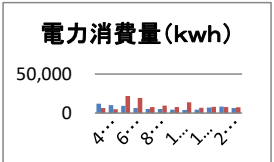
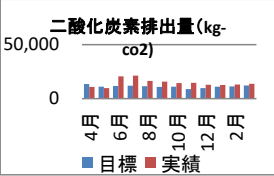
2. 2023年度の目標と実績 (全社・原単位)

※環境効率指標:各項目 排出量/売上高(億円)とする。

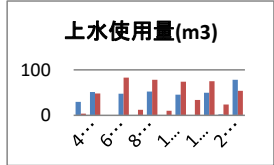
項 目		単位	2022年度(基準年) (44期・売上30億) 4月～3月実績	2023年度 (45期) 4月～3月目標	2023年度 (45期・売上47億) 4月～3月実績	評 価
二酸化炭素	事務所及び工事現場での二酸化炭素の削減	kg-CO ₂ /億円	4,536	4,491 (-1.0%)	3,742 -17.5%	○
	購入電力	KWH/億円	2,781	2,753 (-1.0%)	2,590 -6.9%	○
	ガソリン	L/億円	1,264	1,251 (-1.0%)	828 -34.5%	○
	軽油	L/億円	35.46	35 (-1.0%)	208.7 488.6%	×
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg/億円	17.8	17.6 (-1.0%)	11.9 -33.2%	○
	産業廃棄物排出量の削減	t/億円	81.700	80.88 (-1.0%)	90.75 11.1%	×
	コンクリート塊	t/億円	64.800	64.152	48.47	○
	As・Co塊	t/億円	14.80	14.652	23.753	×
	木くず	t/億円	1.940	1.921	18.53	×
水道使用量の削減		m ³ /億円	12.0	11.9 (-1.0%)	10.6 -12.1%	○
ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)			該当工事の受注	該当工事の受注	受注は無かったが、自主的に「仮宿下付田高田線(仮宿)道路整備工事」現場にて実施(2024年3月末完工 評点84点)	○
環境に配慮した現場管理				環境パイル工法での施工 騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	手戻し、不適合無く施工完了 騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	○

45期環境目標推進表【事務所+工事部・現場】[2023.4～2024.3]

環境目標項目	推進 責任 者	単位	基準値	目標 実績	環 境 目 標 値 と 実 績 値											
			2022年度 (期間)		2023年								2024年			
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		kg-CO ₂	134,718		13,424	11,116	11,780	11,919	11,489	10,734	11,031	8,951	9,744	11,156	11,264	12,111
		%	131%	実績	123%	127%	111%	72%	81%	83%	91%	75%	74%	68%	70%	74%
		kg-CO ₂	175,867		10,760	9,636	20,687	21,316	16,425	15,769	14,453	14,692	12,769	12,610	12,985	13,764
電力消費量削減 ※電力二酸化炭素排出係数 中部電力 0.388 kg-CO2/kwh		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		kwh	82,591		12,031	10,093	9,354	6,374	5,220	5,230	4,235	4,154	4,236	6,999	8,290	6,374
		%	147%	実績	53%	49%	229%	297%	148%	177%	179%	325%	159%	113%	92%	115%
		kwh	121,709		6,450	5,080	21,874	19,319	7,873	9,442	7,728	13,764	6,871	8,040	7,819	7,449
ガソリン消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.320 kg-CO2/l		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		リットル	37,536		3,219	2,901	3,343	3,389	3,263	2,944	3,224	2,975	3,342	2,843	2,710	3,382
		%	104%	実績	88%	90%	98%	104%	99%	118%	104%	103%	102%	102%	114%	101%
		リットル	38,937		2,881	2,650	3,342	3,585	3,296	3,546	3,420	3,121	3,494	2,962	3,147	3,493
軽油消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.580 kg-CO2/l		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		リットル	1,053		127	117	45	175	12	0	161	49	88	143	0	138
		%	931%	実績	306%	469%	3564%	933%	11087%	#DIV/0!	440%	1432%	591%	331%	#DIV/0!	421%
		リットル	9,809		396	559	1,620	1,669	1,344	751	725	709	531	481	433	591
灯油消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.490 kg-CO2/l		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		リットル	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		%	#DIV/0!	実績	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	#DIV/0!	0%	0%
		リットル	40		0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0
LPG消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 3.000 kg-CO2/kg		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		kg	4,291		320	56	93	377	621	625	497	104	40	492	587	479
		%	100%	実績	56%	43%	94%	104%	119%	101%	108%	89%	517%	85%	85%	85%
		kg	4,301		184	25	89	399	752	647	550	94	209	426	511	415
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)																
・一般廃棄物排出量削減 (可燃ごみのみ集計)		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		kg	531		46	38	55	41	40	38	41	50	43	41	47	53
		%	105%	実績	97%	125%	78%	111%	116%	135%	116%	116%	111%	97%	91%	70%
		kg	559		45	48	44	46	47	52	48	60	48	40	43	38
総排水量削減 (節水)																
・上水使用量削減		%	100	目標	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
		m ³	356		30	51	0	48	0	52	0	46	0	50	2	78
		%	139%	実績	13.20%	91.38%	0.00%	171.17%	#DIV/0!	145.68%	#DIV/0!	159.24%	#DIV/0!	148.48%	#####	67.66%
		m ³	496		4	48	0	83	12	78	10	74	34	75	24	54



産業廃棄物排出量...





1. 中期環境経営目標（事務所・総量）

（事業年度：期首 4月1日～期末 3月31日）

※電力二酸化炭素排出係数（中部電力 0.388 kg-CO₂/kwh）2021年調整後排出係数を使用した

項 目		単位	2022年度 (44期・売上30億) 基準年(実績)	2023年度 (45期) 目標	2024年度 (46期) 目標	2025年度 (47期) 目標
二 酸 化 炭 素	事務所での 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	52,122	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	7 12 13 購入電力	KWH	46,790	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ガソリン	L	9,037	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	軽油	L	0			
廃 棄 物	12 13 一般廃棄物の削減	kg	536	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	6 12 水道使用量の削減	m ³	297	-1.0%	-2.0%	-3.0%

※1 化学物質の使用・発生は有りません。

※2 グリーン購入は、環境負荷が少なく改善活動が定着しましたので、環境目標や環境活動計画は作成せず実績を把握し維持管理を行っています。

※3 一般廃棄物は、可燃ごみの数量のみとします。

2. 2023年度の目標と実績（事務所・総量）

項 目		単位	2022年度(基準年) (44期・売上30億) 4月～3月実績	2023年度 (45期) 4月～3月目標	2023年度 (45期・売上47億) 4月～3月実績	評 価
二 酸 化 炭 素	事務所での 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	52,122	52,754 (-1.0%)	59,445 14.0%	×
	7 12 13 購入電力	KWH	46,790	46,322 (-1.0%)	45,928 -1.8%	○
	ガソリン	L	9,037	8,488 (-1.0%)	12,380 37.0%	×
	軽油	L	0			
廃 棄 物	12 13 一般廃棄物排出量の削減	kg	536	531 (-1.0%)	559 4.3%	×
	6 12 水道使用量の削減	m ³	297	294 (-1.0%)	315 6.1%	×



1. 中期環境経営目標(事務所・原単位)

(事業年度:期首 4月1日～期末 3月31日)

※電力二酸化炭素排出係数(中部電力 0.388 kg-CO₂/kwh) 2021年調整後排出係数を使用した

※環境効率指標:各項目 排出量/売上高(億円)とする。

項 目		単位	2022年度 (44期・売上30億) 基準年(実績)	2023年度 (45期) 目標	2024年度 (46期) 目標	2025年度 (47期) 目標
二酸化炭素	事務所での 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂ /億円	1,737	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	購入電力	KWH/億円	1,560	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ガソリン	L/億円	301	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	軽油	L/億円	0			
廃棄物	一般廃棄物の削減	kg/億円	17.9	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	水道使用量の削減	m ³ /億円	9.90	-1.0%	-2.0%	-3.0%

※1 化学物質の使用・発生は有りません。

※2 グリーン購入は、環境負荷が少なく改善活動が定着しましたので、環境目標や環境活動計画は作成せず作成せず、実績を把握し維持管理を行っています。

※3 一般廃棄物は、可燃ごみの数量のみとします。

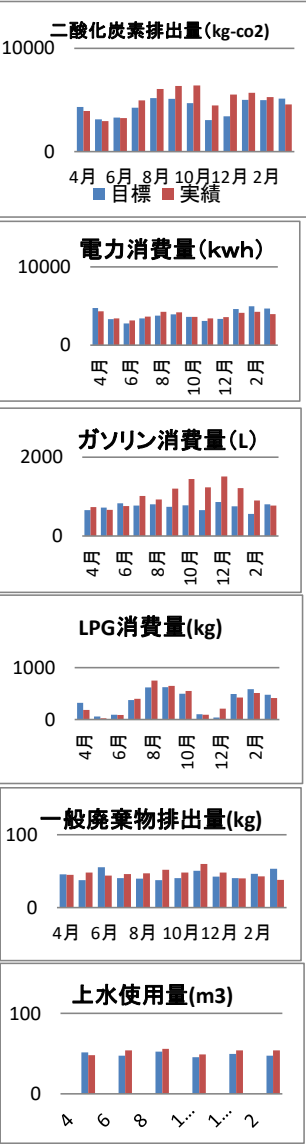
2. 2023年度の目標と実績(事務所・原単位)

※環境効率指標:各項目 排出量/売上高(億円)とする。

項 目		単位	2022年度(基準年) (44期・売上30億) 4月～3月実績	2023年度 (45期・売上億) 4月～3月目標	2023年度 (45期・売上47億) 4月～3月実績	評 価
二酸化炭素	事務所での 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂ /億円	1,737	1,720 (-1.0%)	1,265 -27.2%	○
	購入電力	KWH/億円	1,560	1,544 (-1.0%)	977 -37.3%	○
	ガソリン	L/億円	301	298 (-1.0%)	263 -12.6%	○
	軽油	L/億円	0			
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg/億円	17.9	17.7 (-1.0%)	11.9 -33.4%	○
	水道使用量の削減	m ³ /億円	9.90	9.8 (-1.0%)	6.70 -32.3%	○

45期環境目標推進表【事務所】[2023.4~2024.3]

環境目標項目	推進 責任 者	単位	基準値	目標 実績	環 境 目 標 値 と 実 績 値												
			2022年度 (期間)		2023年										2024年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		kg-CO ₂	51,601		4,326	3,130	3,289	4,252	5,193	5,119	4,697	3,043	3,426	5,009	4,992	5,126	
		%	99%	実績	90%	93%	98%	116%	115%	123%	135%	146%	159%	113%	105%	88%	
		kg-CO ₂	59,445		3,934	2,946	3,255	4,968	6,056	6,351	6,398	4,481	5,515	5,706	5,270	4,566	
電力消費量削減 ※電力二酸化炭素排出係数 中部電力 0.388 kg-CO2/kwh		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	
		kwh	46,322		4,752	3,311	2,774	3,418	3,777	3,941	3,621	3,109	3,367	4,601	4,958	4,694	
		%	98%	実績	90%	102%	112%	106%	112%	105%	98%	109%	105%	89%	85%	83%	
		kwh	45,928		4,316	3,417	3,146	3,644	4,269	4,184	3,602	3,432	3,568	4,141	4,255	3,954	
ガソリン消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.320 kg-CO2/l		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	
		リットル	8,947		656	723	834	773	804	740	776	657	862	753	563	805	
		%	106%	実績	111%	91%	90%	130%	114%	161%	184%	186%	173%	160%	158%	95%	
		リットル	12,380		736	666	762	1,016	924	1,201	1,444	1,236	1,510	1,216	899	770	
灯油消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.490 kg-CO2/l		%	100	目標	99%	99%	0%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	
		リットル	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		%	#DIV/0!	実績	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
		リットル	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
LPG消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 3.000 kg-CO2/kg		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	
		kg	4,291		320	56	93	377	621	625	497	104	40	492	587	479	
		%	89%	実績	57%	44%	95%	105%	120%	103%	110%	90%	523%	86%	86%	86%	
		kg	4,301		184	25	89	399	752	647	550	94	209	426	511	415	
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)																	
・一般廃棄物排出量削減 (可燃ごみのみ集計)		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		kg	531		46	38	55	41	40	38	41	50	43	41	47	53	
		%	95%	実績	98%	126%	79%	112%	118%	137%	117%	118%	112%	98%	91%	70%	
		kg	559		45	48	44	46	47	52	48	60	48	40	43	38	
総排水量削減 (節水)																	
・上水使用量削減		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		m ³	294		0	51	0	48	0	52	0	46	0	50	0	48	
		%	90%	実績	0%	92%	0%	113%	0%	106%	0%	107%	0%	108%	0%	113%	
		m ³	315		0	48	0	54	0	56	0	49	0	54	0	54	





1. 中期環境経営目標 (現場・総量)

(事業年度:期首 4月1日～期末 3月31日)

※電力二酸化炭素排出係数 (中部電力 0.388 kg-CO₂/kwh) 2021年調整後排出係数を使用した

項 目		単位	2022年度(基準年) (44期・売上30億) 基準年(実績)	2023年度 (45期) 目標	2024年度 (46期) 目標	2025年度 (47期) 目標
二酸化炭素	7 工事現場での二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	83,956	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	12 購入電力	KWH	36,635	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	13 ガソリン	L	28,878	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	13 軽油	L	1,064	-1.0%	-2.0%	-3.0%
廃棄物	12 産業廃棄物の削減	t	2,450.08	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	6 水道使用量の削減	m ³	195	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	7 ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)		該当工事の受注	該当工事の受注	受注を目指す	受注を目指す
	6 環境に配慮した現場管理			騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組

※1 化学物質の使用・発生は有りません。

※2 グリーン購入は、環境負荷が少なく改善活動が定着しましたので、環境目標や環境活動計画は作成せず実績を把握し維持管理を行っています。

※3 産業廃棄物は、コンクリート塊・As・Co塊・木くずの数量とします。

2. 2023年度の目標と実績 (現場・総量)

項 目		単位	2022年度(基準年) (44期・売上30億) 4月～3月実績	2023年度 (45期) 4月～3月目標	2023年度 (45期・売上47億) 4月～3月実績	評 価
二酸化炭素	7 工事現場での二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	83,956	83,117 (-1.0%)	116,422 38.7%	×
	12 購入電力	KWH	36,635	36,269 (-1.0%)	75,781 106.9%	×
	13 ガソリン	L	28,878	28,589 (-1.0%)	26,557 -8.0%	○
	13 軽油	L	1,064	1,053 (-1.0%)	9,809 821.9%	×
廃棄物	12 産業廃棄物排出量の削減	t	2,450.08	2,425.58 (-1.0%)	4,265.30 74.1%	×
	12 コンクリート塊	t	1,944.79	1,925.34	2,278.04	×
	As・Co塊	t	446.87	442.40	1,116.38	×
	木くず	t	58.42	57.84	870.88	×
	6 水道使用量の削減	m ³	63	62 (-1.0%)	181 187.3%	×
	7 ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)		ICT施工現場の受注	該当工事の受注	受注はなかったが、自主的に「仮宿下付田高田線(仮宿)道路整備工事」現場にて実施(2024年3月末完工 評点84点)	○
	6 環境に配慮した現場管理			環境パイル工法での施工 騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	手戻し、不適合無く施工完了 騒音、振動、粉塵の低減・防止 生物多様性への取組	○



1. 中期環境経営目標 (現場・原単位)

(事業年度:期首 4月1日～期末 3月31日)

※電力二酸化炭素排出係数 (中部電力 0.388 kg-CO₂/kwh) 2021年調整後排出係数を使用した

※ 環境効率指標:各項目 排出量/売上高(億円)とする。

項 目		単位	2022年度 (44期・売上30億) 基準年(実績)	2023年度 (45期) 目標	2024年度 (46期) 目標	2025年度 (47期) 目標
二 酸 化 炭 素	工事現場での 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂ /億円	2,799	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	購入電力	KWH/億円	1,221	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ガソリン	L/億円	963	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	軽油	L/億円	35	-1.0%	-2.0%	-3.0%
廃 棄 物	産業廃棄物排出量の削減	t/億円	81.70	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	水道使用量の削減	m ³ /億円	2.1	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)		該当工事の受注	該当工事の受注	受注を目指す	受注を目指す
	環境に配慮した現場管理			騒音、振動、粉塵 の低減・防止 生物多様性への取 組	騒音、振動、粉塵 の低減・防止 生物多様性への取 組	騒音、振動、粉塵の 低減・防止 生物多様性への取 組

※1 化学物質の使用・発生は有りません。

※2 グリーン購入は、環境負荷が少なく改善活動が定着しましたので、環境目標や環境活動計画は作成せず実績を把握し維持管理を行っています。

※3 産業廃棄物は、コンクリート塊・As・Co塊・木くずの数量とします。

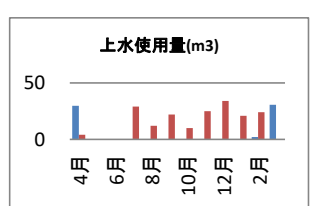
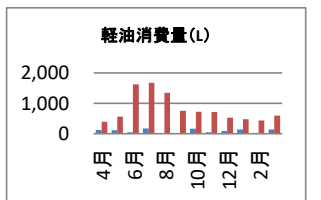
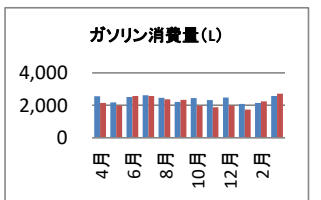
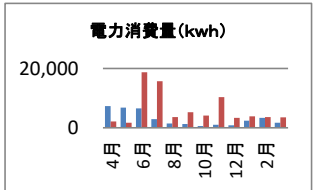
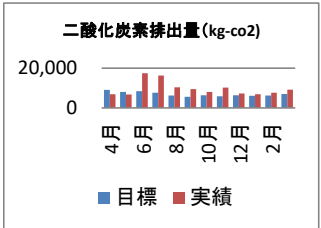
2. 2023年度の目標と実績 (現場・原単位)

※ 環境効率指標:各項目 排出量/売上高(億円)とする。

項 目		単位	2022年度(基準年) (44期・売上30億) 4月～3月実績	2023度 (45期) 4月～3月目標	2023度 (45期・売上47億) 4月～3月実績	評 価
二 酸 化 炭 素	工事現場での 二酸化炭素の削減	kg-CO ₂ /億円	2,799	2,771 (-1.0%)	2,477 -11.5%	○
	購入電力	KWH/億円	1,221	1,209 (-1.0%)	1,612 32.1%	×
	ガソリン	L/億円	963	953 (-1.0%)	565 -41.3%	○
	軽油	L/億円	35	35 (-1.0%)	209 496.3%	×
廃 棄 物	産業廃棄物の削減	t/億円	81.70	80.88 (-1.0%)	90.75 11.1%	×
	コンクリート塊	t/億円	64.800	64.152	48.47	○
	As・Co塊	t/億円	14.80	14.652	23.753	×
	木くず	t/億円	1.940	1.921	18.53	×
	水道使用量の削減	m ³ /億円	2.1	2.1 (-1.0%)	3.9 83.4%	×
	ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査の全行程での導入)		該当工事の受注	該当工事の受注	受注は無かったが、 自主的に「仮宿下付 田高田線(仮宿)道路 整備工事」現場にて 実施(2024年3月末完 工 評点84点)	○
	環境に配慮した現場管理			環境パイル工法で の施工 騒音、振動、粉塵 の低減・防止 生物多様性への取組	手戻し、不適合無く 施工完了 騒音、振動、粉塵 の低減・防止 生物多様性への取組	○

45期環境目標推進表【工事部・現場】[2023.4～2024.3]

環境目標項目	推進 責任 者	単位	基準値	目標 実績	環境目標値と実績値											
			2022年度 (期間)		2023年								2024年			
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		kg-CO ₂	83,117		9,098	7,986	8,490	7,667	6,296	5,615	6,334	5,908	6,318	6,147	6,272	6,985
		%	79%	実績	74%	83%	203%	211%	163%	166%	126%	171%	114%	111%	122%	130%
		kg-CO ₂	116,422		6,826	6,690	17,432	16,348	10,369	9,418	8,056	10,211	7,254	6,904	7,715	9,198
電力消費量削減 ※電力二酸化炭素排出係数 中部電力 0.388 kg-CO ₂ /kwh		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		kwh	36,269		7,279	6,782	6,580	2,955	1,443	1,289	614	1,045	869	2,399	3,332	1,680
		%	51%	実績	29%	24%	282%	525%	247%	404%	665%	978%	376%	161%	106%	206%
		kwh	75,781		2,134	1,663	18,728	15,675	3,604	5,258	4,126	10,332	3,303	3,899	3,564	3,495
ガソリン消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.320 kg-CO ₂ /l		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		リットル	28,589		2,563	2,178	2,510	2,616	2,459	2,205	2,448	2,318	2,480	2,090	2,146	2,577
		%	92%	実績	83%	90%	102%	97%	95%	105%	80%	81%	79%	83%	104%	105%
		リットル	26,557		2,145	1,984	2,580	2,569	2,372	2,345	1,976	1,885	1,984	1,746	2,248	2,723
軽油消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.580 kg-CO ₂ /l		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		リットル	1,053		127	117	45	175	12	0	161	49	88	143	0	138
		%	56%	実績	309%	474%	3600%	943%	11200%	#DIV/0!	445%	1447%	597%	334%	#DIV/0!	425%
		リットル	9,809		396	559	1,620	1,669	1,344	751	725	709	531	481	433	591
灯油消費量削減 ※二酸化炭素排出係数 2.490 kg-CO ₂ /l		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		リットル	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		%	#DIV/0!	実績	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	#DIV/0!	0%	0%
		リットル	40		0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0
総排水量削減（節水）																
・上水使用量削減		%	100	目標	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
		m ³	62		30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	31
		%	33%	実績	13%	0%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1200%	0%
		m ³	181		4	0	0	29	12	22	10	25	34	21	24	0



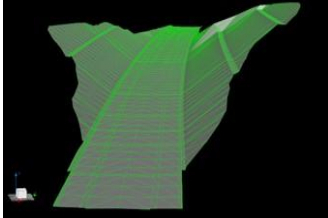
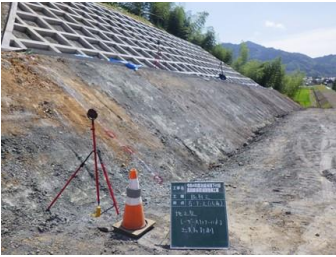


評価日：2024年7月5日

NO	項 目	全社(事務所及び現場)結果の評価(総量・原単位)及び対策
1	二酸化炭素排出量 全社：総量× 原単位○ 事務所：総量× 原単位○ 現場：総量× 原単位○	事務所及び工事現場で二酸化炭素の削減を目指し、2022年度(基準年)の実績値に対し全社で-1.0%以上の削減目標を掲げました。総量では全てで未達となりましたが、原因は売上の大幅増加(30億→47億 前年比156%)によるもので、原単位では全てで目標達成となりました。今後EA21活動を通じて、『当社は環境目標を定め、環境法規制事項を順守しエコロジーを推進します』のスローガンのもと、環境負荷の削減に努めていきます。
2	購入電力量 全社：総量× 原単位○ 事務所：総量○ 原単位○ 現場：総量× 原単位×	事務所では無駄な照明の消灯・節電シール表示・照明器具点滅回路の見直し及びプルスイッチ取付・照明間引きの実施をし節電対策を行ない、AC夏季28℃・冬季20℃の温度設定厳守の節電・節ガス対策を行ないました。又、現場事務所での不在時の消灯、エアコンのスイッチオフに努め、新規入場時・朝礼等で現場作業員に節電教育を実施し対策を行いました、又以前より計画していた本社事務所のLED化を12月に実施した結果、1月以後約15%の削減が図れました。総量では全社・現場共に未達、原単位では現場のみが未達となりました。現場未達の原因は、「高洲こども園建設工事」における仮園舎の電気代、及び「蔵田島田線の土木工事」における水中ポンプ用発電機の使用によるものです。今後も継続的に社員・現場作業員の節電教育を実施すると共に、引き続き電力使用量の削減に努めます。
3	ガソリン使用量 全社：総量× 原単位○ 事務所：総量× 原単位○ 現場：総量○ 原単位○	全ての社有車両にスマートドライブ・エコドライブシールを貼り、朝礼・部会等で急発進・急加速の抑制、不必要なアイドリングの防止を呼び掛け省エネ運転を励行しました。その結果、全社総量(+2.7%)、事務所総量(+37.0%)は未達となりましたが、他は全て目標達成となりました。事務所は、女性事務社員、顧問、技術部社員使用の増車を図ったことも一因と考えます。今後も引き続き、省エネ運転励行等社員教育を継続的に実施すると共に、高年式車両への更新及びエコカーの導入等を順次計画的に進め燃費抑制を目指します。
4	軽油 全社：総量× 原単位× 現場：総量× 原単位×	事務所で使用していた軽油使用の車両は、エコカーに変更。又、現場車両も買換え時には、エコカーガソリン車への切替、軽油使用の車両(ガソリン車も含む)については、省エネ運転励行は勿論の事、積載荷物を最小限にし軽量化するよう指示しました。結果、全社・現場の総量、原単位ともに未達となりました。主要因として、殿排水池改装に伴う建築工事現場で、地下水の出水が多く排水ポンプを相当期間稼働させ続けたことがあります。今後も、引き続き省エネ対策に努めていきます。
	一般廃棄物削減 全社：総量× 原単位○ 事務所：総量× 原単位○ 産業廃棄物削減 全社：総量× 原単位× 現場：総量× 原単位×	一般廃棄物については、総量で目標未達、原単位は達成しました。産業廃棄物については、副産物等の分別収集を徹底しリサイクル化に努めています。本社の産廃BOXについても、現場で出た物は現場で処分するように努めました。が、売上の大幅増加が主要因で目標未達となりました。今後も、副産物等の分別収集を図り、リサイクル化に努めていきます。
6	水道使用量 全社：総量× 原単位○ 事務所：総量× 原単位○ 現場：総量× 原単位×	事務所では蛇口付近に節水シールを貼り、朝礼・部会等で無駄な水道使用を呼びかけると共に、蛇口のコマを節水コマに取り替え、水道水使用削減を実施しました。又、定期的に配管の水漏れ確認を実施して漏水を防ぎました。現場では、新規入場教育・朝礼等で無駄な水道水の使用削減を呼び掛けました。結果、人員増・売上増により総量では全て未達となりましたが、原単位では現場を除き目標を達成しました。現場の未達要因は、「近畿鉄筋コンクリート(株)の旧社屋解体工事」における散水によるものです。今後も節水意識を高めていき、使用量の削減に努めていきます。



評価日：2024年7月5日

NO	項目	結果の評価(総量・原単位)及び対策
7	ICT施工による生産性向上 (測量、設計・施工計画、施工、検査行程での導入)	*「令和4年度(社総)仮宿下付田高田線(仮宿)道路整備工事」(工期：2022年6月～2024年3月) 今期も、ICT施工工事が受注できませんでしたが、 受注済の上記施工において、自主的にICT施工を実施。3次元測量用ドローンによる3次元測量用ドローンによる3次元設計データ作成、出来形管理、過積載防止等を行った。約2年間に亘る大型工事であったが、大きな問題も無く、当初の計画通り、2024年3月に完工。評点は84点と高評価であった。 3次元測量 ↓ 過積載防止策    地上型レーザースキャナーによる出来形計測  
8	環境に配慮した施工 (環境パイル工法)	*「新岡部みわ保育園建築工事」(工期：2023年8月～2024年12月) 約300坪の木造平屋建て園舎の杭を、「環境パイル工法」で「木杭」とした。環境パイル工法とは、木材で建物を支える「環境にやさしい地盤改良工法」防蟻処理を実現することで、「腐食しない、蟻害しない」高耐久性工法    



9

生物多様性への悪影響を考慮し、工法を変更、水質汚濁を防止。

*「蔵田島田線4年災害復旧工事」（工期：2023年2月～2023年8月）

一昨年の台風15号の影響により被害を受けた大久保川の護岸を復旧するものだが、この大久保川は、大井川の支流伊久美川の上流部にあたりアユ、アマゴ、オイカワ等多くの魚種が生息する河川である。

通常、河川内の施工については、渇水期に行いますが、今回災害復旧の緊急性もあり施工を4月から8月の出水期に実施。通常、メイン工種のブロック積工においては、ブロック土台、小口止め等については、現場で型枠を組立てコンクリートを打設するのが一般的。しかし、ブロック土台、小口止めについては、水際の作業であり生コンクリートによる河川水質に影響する。その防止策として、ブロック土台、小口止めについてコンクリート二次製品を使用し水質の悪化を低減し、魚種の生息に配慮した。

型枠を使用しないことも木の残材処理が無く環境に配慮することとなる。

計画通り、2023年8月に完工。評点79点であり、まずまずの結果であった。



完工





NO	環境活動の具体的な取り組み事項	該当部署	実 施 工 程 計 画												備 考
I	事務所における環境に配慮した具体的取組	該当部署	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	(実施方針)
(1)	二酸化炭素排出量削減(電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG)の削減	事務所 (総務部)													朝礼・社内メール 伝達・指示徹底 毎月の結果報告・検証 各部門で改善案提案
	1) AC設定温度: 夏季28℃、冬季20℃に設定。事務所2階ACはLPG。(節電の表示)														
	2) 不在時、昼休み時間帯の消灯励行、点滅回路見直し														
	3) クールビズ、ウオームビズの推奨														
(2)	一般廃棄物の削減 総排水量の削減	事務所 (総務部)													朝礼・社内メール 伝達・指示徹底 毎月の結果報告・検証 各部門で改善案提案
	1) ごみの分別の徹底。ペットボトル・缶・瓶・古新聞・ダンボール等のリサイクル徹底														
	2) 使用済用紙の裏面使用・ペーパーレス化推進(リドック活用)														
	3) 節水表示、定期的な配管の水漏れ点検実施														
II	現場における環境に配慮した具体的取組	該当部署	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	(実施方針)
(1)	二酸化炭素排出量削減(電力・ガソリン・軽油・灯油)の削減	建築部 リノベーション部 土木部													毎月の結果報告・検証 各部門で改善案提案 安全委員会/毎月で報告・改善
	1) 現場事務所でのAC設定温度をこまめにチェック。不在時のまめな消灯励行。														
	2) PC・OA機器等未使用時の電源OFFの励行														
	3) クールビズ、ウオームビズの推奨。														
(2)	産業廃棄物(汚泥・汚水・石綿・混合物)の削減・総排水量の削減	建築部 リノベーション部 土木部													毎月の結果報告・検証 各部門で改善案提案 安全委員会/毎月で報告・改善
	1) 施工前現場環境の事前調査、環境調査。現場の状況に応じた工法の施工。														
	2) 水量による対応措置の多様化(ポンプの大小、設置数 等)														
	3) 解体時の散水量の調整														
(3)	騒音や振動の低減及び低騒音、低振動施工の促進 粉塵の低減・防止	建築部 リノベーション部 土木部													各部門で改善案提案 安全委員会/毎月で報告・改善
	1) 使用前点検励行、定期的なオイル交換・適正空気圧の維持														
	2) 環境配慮型建設機械等の使用(低振動・低騒音)														
	3)														
(4)	ICT施工の実施(令和4年度仮宿下付田高田線道路整備工事)	土木部													毎月の結果報告・検証
	1) 3次元測量用ドローンによる3次元設計データ作成、出来形管理、過積載防止策を実施。														
(5)	環境パイル工法での施工(新岡部みわ保育園建築工事)	建築部													毎月の結果報告・検証
	1) 環境にやさしい地盤改良工法														
(6)	生物多様性への取組	土木部													毎月の結果報告・検証
	1) 魚類への影響を無くすために、コスト高にはなるが、コンクリート二次製品の使用														

8. エコアクション21		45期環境経営計画の達成状況及び次年度の取組み				'24. 04. 26			
NO	事務所・現場での環境活動の具体的な取り組み事項		事務所・現場での環境活動の具体的な取組事項の結果評価				事務所・現場での環境活動の具体的な取り組み事項		
I	具体的取組事項		評価	評価日	評価と結果		次年度の取組み(46期)		
(1)	事務所：二酸化炭素排出量削減(電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG)の削減		事務所：二酸化炭素排出量削減(電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG)の削減				同 左		
	1) AC設定温度:夏季28℃、冬季20℃に設定。事務所2階ACはLPG。(節電の表示)		3	4/12	徹底できている		継続しての実施 徹底されていない点は、指導の徹底、強化を図る		
	2) 不在時、昼休み時間帯の消灯励行、点滅回路見直し		3		一部未実施、個人差がある				
	3) クールビズ、ウオームビズの推奨		3		徹底できている				
	4) 駐車時のアイドリングストップ。急発進・急加速の禁止。積載荷物の少量化		2		一部徹底されていない点もあり(ドライブレコーダーの社有車全車への装着)				
(2)	事務所：一般廃棄物の削減 総排水量の削減		事務所：一般廃棄物の削減 総排水量の削減				同 左		
	1) ごみの分別の徹底。ペットボトル・缶・瓶・古新聞・ダンボール等のリサイクル徹底		3	4/12	徹底できている		継続しての実施 徹底されていない点は、指導の徹底、強化を図る		
	2) 使用済用紙の裏面使用・ペーパーレス化推進(リドック活用)		3						
	3) 節水表示、定期的な配管の水漏れ点検実施		3						
(1)	現場：二酸化炭素排出量削減(電力・ガソリン・軽油・灯油)の削減		現場：二酸化炭素排出量削減(電力・ガソリン・軽油・灯油)の削減				同 左		
	1) 現場事務所でのAC設定温度をこまめにチェック。不在時のまめな消灯励行		3	4/12	徹底できている		継続しての実施 徹底されていない点は、指導の徹底、強化を図る		
	2) PC・OA機器等未使用時の電源OFFの励行		3						
	3) クールビズ、ウオームビズの推奨		3						
	4) 駐車時のアイドリングストップ。急発進・急加速の禁止。積載荷物の少量化		2						一部徹底されていない点もあり
(2)	現場：産業廃棄物(汚泥・汚水・石綿・混合物)の削減 総排水量の削減		現場：産業廃棄物(汚泥・汚水・石綿・混合物)の削減 総排水量の削減				同 左		
	1) 施工前現場環境の事前調査、環境調査。現場の状況に応じた工法の施工		3	4/12	徹底できている		継続しての実施 徹底されていない点は、指導の徹底、強化を図る		
	2) 水量による対応措置の多様化(ポンプの大小、設置数 等)		3						
	3) 解体時の散水量の調整		3						
	4) 強風時の解体工事はなるべく控える		2						ほぼ徹底できている
(3)	現場：騒音や振動の低減及び低騒音、低振動施工の促進 粉塵の低減・防止		現場：騒音や振動の低減及び低騒音、低振動施工の促進 粉塵の低減・防止				同 左		
	1) 使用前点検励行、定期的なオイル交換、環境配慮型建設機械等の使用(低騒音・低振動)		2	4/26	一部徹底されていない点もあり		現場の状況にあわせ、臨機応変に対処する		
(4)	現場：環境パイル工法での施工(新潟部みわ保育園建築工事)		現場：太陽光発電による「騒音・振動測定器」の設置 等				同 左		
	1) 環境にやさしい地盤改良工法		3	4/26	徹底した管理より、苦情、事故等無く施工完了。		同左を継続実施		
	2) 防蟻処理を実施することで「腐食しない、蟻害しない」高耐久性工法								
(5)	現場：生物多様性への取組		現場：生物多様性への取組				同 左		
	1) 河川生物(魚類他)への悪影響を無くすために、コンクリート2次製品の使用		3	4/26	近隣からの環境に関するクレームもなく、問題なく完工、評点79点。		同様の工事では、参考にしていく		
(6)	現場：自主的にICT施行の実施「令和4年度仮宿下付田道路整備工事」		3	4/26	計画通り2024年3月に完工、評点は84点と高評価であった。		同様の工事では、参考にしていく		

SDGsへの取組

※ 評価基準：3:良好 2:概ね良好 1:見直し・改善が必要

9. エコアクション21

部門別取組結果の評価と改善及び次年度の取組み



NO	部門名	環境経営活動の具体的な取組み事項(環境負荷低減の取組)	取組・結果評価	評価日	改善及び次年度の取組み
1	事務所	AC設定温度:夏季28℃、冬季20℃に設定(節電の表示)	温度設定シール表示済み→徹底されている	4/12	継続しての実施
		手洗他水道使用時にこまめに蛇口を閉める。	節水シール表示済み→徹底されている		
		クールビズ、ウォームビズの推奨	部門長が部会で部員に指示→各自努力継続中		
		不必要なコピー・プリント削減、裏紙使用によるコピー用紙削減	無駄なコピー禁止・カラーコピーの抑制表示済み→裏紙使用徹底されている		
		請求書・図面・経理書類等の電子化・添付書類の電子化	リドックサーバーへの落とし込み、保管		
2	建築現場 土木現場	社有車輛の使用前点検励行、定期的なオイル交換・適正空気圧の維持	朝礼時説明→各自努力継続中	4/12	継続的に実施、部会で各自の使用前点検指示
		運転時の急発進、急加速の抑制、不必要なアイドリング防止	スマートドライブ・エコドライブ表示済みだが事故・違反有り→再教育必要		継続的に実施、部会でセフティードライブ指示
		グリーン対象商品調査・購入の推進・エコマーク商品調査・購入推進	グリーン購入・エコマーク商品の調査・選択→購入実施中		グリーン購入・エコマーク商品の積極的購入実施
		業界、地域コミュニティでの草取り・清掃活動に参加、協力をする	地域コミュニティと協定書締結→2回/年の清掃活動実施		継続的に実施、次回は場所を変える、範囲を拡大する
		産業廃棄物排出量の削減及び発生防止施行の促進	事前の環境調査を実施し、その対策を図る⇒ほぼ徹底されている		継続しての実施
		騒音や振動の低減及び低騒音、低振動施工の促進	病院の耐震化工事における「鉄骨ブレース工法」の採用		同様の近隣環境の工事では参考にしていく
		特定現場(静大フィールド造成工事)での「騒音・振動測定器」の設置 等	近隣からの苦情は一切なく、無事完工		長い工期であり、引き続き継続実施
		特定現場(令和4年度仮宿下付田道路整備工事)での、自主的なICT施工の実施。	計画通り2024年3月に完工。評点も84点と高評価であった		
		建設現場での建設廃材の分別及びリサイクル化	分別しやすいようコンテナを別にした。⇒徹底されている		継続しての実施
		仮設材等の可能な限りの再使用化	協力業者に指導、教育⇒徹底されている		
		建設機械等の燃料使用量の削減、環境配慮型建設機械等の使用	協力業者に指導、教育⇒徹底されている	4/12	継続しての実施
		特定現場(蔵田島田線災害復旧工事)での工法変更による生物への影響を減らす	従来の工法を変更し、コンクリート2次製品の使用による施工を実施		同様の周辺環境の工事では参考にしていく
		環境パイル工法での施工(新岡部みわ保育園建築工事)	事故、クレーム無く無事施工完了		同様の工事では参考にしていく
		運転時の急発進、急加速の抑制、不必要なアイドリング防止	スマートドライブ・エコドライブ表示済みだが事故・違反有り→再教育必要		
		グリーン対象商品調査・購入の推進・エコマーク商品調査・購入推進	グリーン購入・エコマーク商品の調査・選択→購入実施中		継続しての実施
		業界、地域コミュニティでの草取り・清掃活動に参加、協力をする	地域コミュニティと協定書締結→2回/年の清掃活動実施		



10. 環境教育訓練の実施

(作成日: '24.7.10)

環境に関する教育訓練を次の通り実施する。

1) 教育・訓練の区分

教育 ニ ー ズ	NO	教育項目	対象者	教育・訓練の内容
	1	EA21のアウトライン	全社員	EA21の概要、取組みの意義、取り組み内容及び現状
	2	環境経営方針・環境経営目標	全社員	当社の環境経営方針・環境経営指針、環境経営目標、環境経営活動計画及び手順等
	3	組織及び責任と権限	全社員	当社の実施体制及び役割分担(主な責任と権限)
	4	環境経営活動計画及び手順	全社員	部門別業務に関連した環境経営目標、環境経営活動計画の内容及び手順等
	5	実施状況の把握と修正・是正	管理職	EA21委員会として実施状況の把握及び修正・是正処置
	6	地球温暖化とCO2排出削減	管理職	温室効果ガスと地球温暖化のメカニズムの把握
	7	現場安全パトロール	建築部員	OJT「職場内訓練」を通じ業務を行う上で必要となる技術や能力の教育
	8	環境関係法規遵守手順	管理職	法律・規制・条例等の遵守手順等
	9	その他の臨時講習等	全社員	建設業界主催他、業務遂行に必要とされる講習等
教育・ 訓練 計画	NO	実施時期	対象者	教育実施内容
	1	2024年4月5日	全社員	環境経営活動レポートに基づきEA21の概要、取り組む意義説明
	2	幹部会議1回/毎月(第1月曜)	部長職以上幹部	環境経営システムの概要及び取組みの意義とその効果
	3	ISO委員会/3カ月毎	品質保障・EA21委員	環境経営システムの運用状況把握及び環境目標に対する達成度・改善の有無
	4	2024/6/28安全大会(角親会)	全社員・協力業者	「人手不足時代における最新テクノロジー活用と安全教育の進化」公演受講
	5	安全パトロール1回/毎月(角親会)	建築部現場担当者	工事部安全パトロール時に現場のEA21取組み及び建設副産物の処分把握
	6	その他随時実施	全社員	

2) 2023年度(45期) 教育・訓練の実績表

NO.	教育・訓練内容	受講者	45期				46期			
			2023/4～2023/9		2023/10～2024/3		2024/4～2024/7			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
1	環境管理責任者より当社EA21の概要説明と、トップマネジメントから環境経営方針・環境経営指針を指示し、全員参加の活動を促す	全社員 (半期初め全員集会)	○	● 4/5	○	● 10/6	○	● 4/3		
2	環境経営レポートに基づき、環境経営システムの内容・取組みの意義及び経営に波及する効果、又、各人の役割分担、環境数値目標の把握	部長職以上幹部会 (1回/毎月) 実施:2回/年	○	● 4/8	○	● 10/11	○	● 4/3		
3	環境経営システムの運用状況把握及び環境経営目標に対する達成度・改善又は是正処置の有無を協議する	品質保障委員 EA21委員 (MR時 1回/年)	○	● 4/21	○	● 10/18	○	● 4/26		
4	角親会安全大会時に、当社EA21の環境経営方針・環境経営指針、環境経営目標、環境経営活動計画及び実施状況を説明し、社員は基より、協力業者にも協力を仰ぎ、実施体制を構築する	全社員協力業者 (1回/年)	○	● 6/23			○	● 6/28		
5	角親会安全パトロール時に、建設副産物の、分別状況、処分・再利用・再生状況を確認し、適切に処理されているか、改善の必要はないかチェックする。又その結果を工事部安全会議で報告し部員全員に水平展開する。	建築部現場担当者全員 (1回/毎月)	○	● 4/20 5/18 6/15 7/20 8/17 9/21	○	● 10/19 11/16 12/21 1/18 2/15 3/21	○	● 4/18 5/16 6/20 7/18		
6	その他講習随時実施		○	/	○	/	○	/		/



11. 地域融合活動計画及び実績

(作成日:2024.7.10)

NO	実施年月日	予定	実施	時 間	実施場所	実施内容
1	2023.08.10	○	●	PM3:00～PM3:30	藤枝市益津下町内会 藤枝市城南2丁目地内 の 道路及び歩道	益津下町内会と協定を締結し、地域の道路 等の清掃活動を実施し、清潔で快適な 街づくりに協力する
2	2023.09.26	○	●	AM7:00～AM7:45	本社前北側道路(藤枝西高 南側道路)	本社前北側道路(藤枝西高南側道路)にて、通 勤通学時間帯に交通安全の「のぼり」を持ち、 交通安全の啓蒙に努めた。
3	2023.12.28	○	●	PM1:00～PM2:00	藤枝市益津下町内会 藤枝市城南2丁目地内 の 道路及び歩道	益津下町内会と協定を締結し、地域の道路 等の清掃活動を実施し、清潔で快適な 街づくりに協力する
4	2024.04.12	○	●	AM7:00～AM7:45	本社前北側道路(藤枝西高 南側道路)	本社前北側道路(藤枝西高南側道路)にて、通 勤通学時間帯に交通安全の「のぼり」を持ち、 交通安全の啓蒙に努めた。

1.城南地内の道路及び歩道の清掃活動(2023.8.10)



2.本社前北側道路にて交通安全運動実施(2023.9.26)



3.城南地内の道路及び歩道の清掃活動(2023.12.28)



4.本社前北側道路にて交通安全運動実施(2024.4.12)





※ 当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況確認の結果、違反はありません。(評価日:2024.7.10)

NO	法規制の名称	適用内容	対応策	遵守状況	評価日
1	建設業法	建設業法	主任技術者・監理技術者の適正配置	適正	7月10日
2	労働安全衛生法	労働安全管理者の選任	安全第一作業、店社パトロール実施/毎月	適正	7月10日
		健康診断の実施	対象社員の1回/年の健康診断		7月10日
		アスベストの除去作業他	アスベスト回収・運搬時の飛散防止対策		7月10日
3	建築基準法	建築物の敷地・設備・構造・用途についての最低の基準上記規制基準の順守	建築確認申請書提出	適正	7月10日
4	建設リサイクル法	分別解体及び再資源化等の実施・報告	リサイクル法届け出(作業開始)の7日前までに再生資源利用計画の作成	適正	7月10日
5	建築物省エネ法	建築物の省エネ性能の向上を図る	「届出書等」の建設市町への提出	適正	7月10日
6	特定家庭用品機器再商品化法【家電リサイクル法】	特定家庭用機器の(ユニット型AC・冷蔵庫・冷凍庫)引き取り・製造業者への引渡し	建設現場における特定家庭用機器の引き取り・製造業者への引渡し	適正	7月10日
7	資源有効利用促進法	PCリサイクル法	PC、コピー機・プリンター等OA機器適正処分	適正	7月10日
8	グリーン購入法	環境負荷・必要性の考慮	エコマーク商品購入・環境配慮型資材の購入	適正	7月10日
9	騒音規制法	杭打機、杭拔機、削岩機、空気圧縮機、コンクリートプラント等を使用する作業	特定建設作業の実施の届け出(市長・村長宛て)(作業開始の7日前迄に) 特定建設作業の敷地境界線で、騒音:85db以下、振動:75db以下	適正	7月10日
	振動規制法				
10	フロン排出抑制法	フロン類排出抑制法 フロン類の引取・引渡等 点検	第1種フロン回収業者登録(知事の許可) 平成25年改正・27年4月から施行(簡易点検・定期点検・記録の作成、保存の義務化)	適正	7月10日
11	土壌汚染対策法	対象工事の調査、防止装置	諸官公庁届け出	適正	7月10日
12	悪臭防止法	事業所の事業活動に伴い発生する悪臭物質に対する必要な規制の遵守	事業所に測定、届け出の義務は無し(地方自治体による数値測定)	該当なし	7月10日
	下水道法	藤枝市下水道条例	諸官公庁届け出	適正	7月10日
13	廃棄物の処理及び清掃に関する法律【廃棄物処理法】	産業廃棄物委託契約	収集運搬処分業者と委託契約締結保存(5年間)	適正	7月10日
		産業廃棄物管理票	マニフェストの交付及び保存(5年間)		7月10日
		産業廃棄物の保管	保管場所仮囲い・表示板60×60以上設置		7月10日
			飛散・流出、地下浸透防止、金属製廃棄箱設置		7月10日
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書	報告書の作成・保管 保存(5年間)		7月10日
		多量排出事業者報告書	処理計画書・実績報告書の提出		7月10日
14	化管法【PRTR法】	化学物質の自主的な管理の改善、環境保全上の支障の未然防止	化学物質排出移動量届け出 化学物質等安全データシート	適正	7月10日
15	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理者の選任	大野担当、野中担当	適正	7月10日
		(実地確認)委託業者の運搬又は処分が行われる施設の実地確認とその記録の保管委託先(株)三和建商リサイクルセンター(2021.10.15)	運搬又は処分を委託しようとする時はあらかじめ実施する。1年以上継続して運搬又は処分をする委託時は、1回/毎年実施する 実地確認とその記録の保管(実施した日から5年間)		7月10日

※ 過去3年間に於いて、関係機関からの指導、地域住民等利害関係者からの訴訟はありません。

弊社は「不当要求防止責任者選任事業所」として暴力団等が行う不当要求行為から被害を防止します。



見直し関連情報		2024年7月25日	環境管理責任者: 西川 稔
NO	項 目	確認(必要に応じて評価・コメントを記載)	
1	環境経営方針	■ 今後も【環境経営指針】に沿った事業活動を、全社員で推進していきます。	
2	EA21文書(環境経営活動レポート)	■ 基準年の変更(2021年度→2022年度に変更)、項目の見直しを実施した。	
3	環境経営目標及び目標達成状況	■ 中期環境経営目標推進表で環境負荷の総量目標を、環境効率指標(原単位)に見直し、環境への取組みの効果を確認できるようにした。	
4	環境経営活動計画及び取組み実施状況	■ 現場(建築・土木)における環境配慮をより考慮し、工期短縮、騒音防止等に努めた。又、引き続きのICT技術導入による土木施行を自主的に実施した。	
5	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	■ 環境関連法規制要求事項への遵守状況は適正で違反は無し。	
6	外部コミュニケーション対応記録	■ 過去3年間に於いて、関係機関からの指導、地域住民等利害関係者からの訴訟は有りません。	
7	問題点の是正及び予防処置の実施状況	■ 環境問題の大きな発生事故・クレームは特に無し。環境に関する教育訓練/年を計画し実施する。	
8	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	■ 角丸建設(株)安全協力会その他協力業者にも、EA21環境経営活動への参加及び協力に理解を求め、環境配慮の意識高揚を図る。	
9	その他	■ 弊社は「不当要求防止責任者選任事業所」として、暴力団等が行う不当要求行為から被害を防止します。	

『代表者による全体の取組状況の評価及び見直し』の指示

NO	見直し項目	変更の必要性	「有り」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒ 無	_____
2	環境経営目標・計画	☒ 有 無	過去3年間の負荷量の平均値を基準値として設定する。 産業廃棄物に関する環境経営目標に、再資源化率の向上を追加する。 (47期より基準値の変更と環境経営目標に再資源化率の向上の追加を行なうこと)
3	環境経営活動計画・取組み項目	☒ 有 無	目標達成評価としての比較は、累積値で行なうことを検討する。
4	環境に関する組織	有 ☒ 無	_____
5	その他のシステムの要素	有 ☒ 無	_____
6	その他(外部への対応等)	有 ☒ 無	_____
全体評価 (環境経営システムの有効性、環境への取組みの適切性等)		45期は、当初より取組んできた二酸化炭素、産業廃棄物、水道使用量等の削減目標は、売上的大幅増加(対前期157%)により、総量ではほぼ未達、原単位ではほぼ達成できました。また、施工においては、ICT施工現場が工期通り完工し84点の高評価を受けたこと、環境にやさしいパイル工法での施工を実施、更に全ての現場にSDGsの垂れ幕、工事看板を設置するなど、社員の環境配慮への想いの高まりを感じます。2017年度版への移行後“従来の環境への取組を経営の中に位置付ける”という目的が加わりましたが、ICT施工は初期投資こそ必要になりますが、工期の短縮、作業人員の削減等、間違いなく生産性を高めています。 今後も、環境経営への意識を更に高めて、二酸化炭素排出削減は勿論の事、環境負荷の少ない施工に努め、全社を挙げ環境経営システムを継続的に改善し、持続可能な社会に貢献する企業を目指していきます。	
評価日: 2024年7月25日		代表取締役社	小倉 達也